



2017年3月期第2四半期決算説明会

聖岳（赤石小屋東から）



特種東海製紙株式会社



目次

・ 会社概要	(p1)		
2017年3月期第2四半期連結決算概要		NaSFAの進捗状況	
・ 第2四半期連結業績実績	(p2)	・ NaSFAについて	(p14)
・ 経常利益の増減要因(第2四半期)	(p3)	・ 新ガラス合紙の開発成果	(p15)
・ セグメント情報	(p4)	・ エアラスの販売状況	(p16)
日本製紙との段ボール原紙及び クラフト紙事業に関する事業提携について		・ ファンシー事業の強化	(p17)
・ 新会社の概要	(p5)	・ ファンシーペーパー「レザック」	(p18)
・ 新東海製紙BS	(p6)	・ レザック16の上市	(p19)
・ 提携シナジー	(p7)	・ TSギフトの上市	(p20)
・ 提携シナジー① R1B脱塩装置導入	(p8)	・ 中国向けファンシーの展開	(p21)
・ 提携シナジー② タービン効率改善	(p9)	・ セルロースナノファイバーの取り組み	(p22)
・ NTI 下期見込、BS	(p10)	・ フィブリックの開発状況	(p23)
・ 業界シェア(2016年1月-9月)	(p11)	・ 偽造防止用紙 東京オリンピックへの取り組み	(p24)
2017年3月期通期連結業績見直し		・ TT-除染シートの技術力アップ	(p25)
・ 2017年3月期連結業績見直し	(p12)	・ 海外事業の推進	(p26)
・ 経常利益の増減要因(通期見直し)	(p13)	・ 第26回 紙わざ大賞 作品展	(p27)

会社概要

- 社名 特種東海製紙株式会社
- 本店所在地 静岡県島田市向島町4379番地
- 設立 2007年4月
- 代表者 代表取締役社長 社長執行役員 松田 裕司
- 資本金 11,485百万円
- 従業員数(連結) 1,497名(2016年3月)
- 事業内容 紙・パルプの製造、加工、販売
- 工場 三島、島田、横井、岐阜

2017年3月期第2四半期 連結決算概要

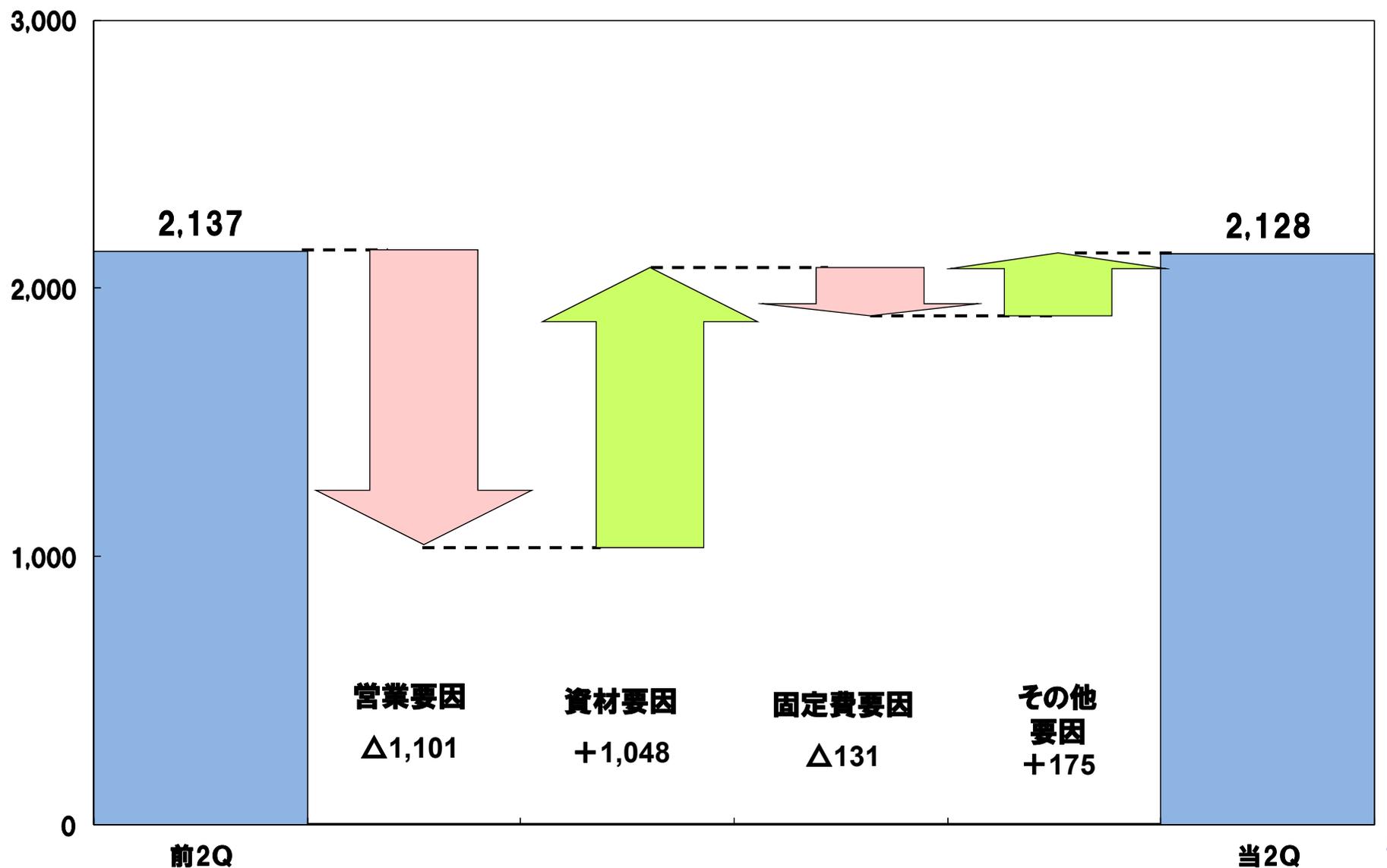
第2四半期連結業績実績

(単位:百万円)

	前2Q実績	当2Q実績	前年変化
売上高	39,535	38,435	△1,100
営業利益	2,020	2,055	+35
経常利益	2,137	2,128	△9
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,306	2,515	+1,209
売上高 経常利益率	5.4%	5.5%	—

経常利益の増減要因(第2四半期)

単位:百万円



セグメント情報

単位:百万円

		前2Q実績	当2Q実績	増減
産業素材 事業	売上高	20,445	20,115	△330
	営業利益	576	674	+98
特殊素材 事業	売上高	10,872	9,917	△955
	営業利益	1,239	908	△331
生活商品 事業	売上高	8,529	8,581	+52
	営業利益	169	438	+269
その他	売上高	2,413	2,701	+288
	営業利益	141	105	△36
消 去	売上高	△2,724	△2,879	△155
	営業利益	△105	△72	+33
合 計	売上高	39,535	38,435	△1,100
	営業利益	2,020	2,055	+35

日本製紙との段ボール原紙及びクラフト 紙事業に関する事業提携について

新会社の概要

内容

- 2016年10月1日に新東海製紙及びNTIとの吸収分割の効力が発生。
- 同時に新東海製紙は日本製紙に対し、第三者割当増資を実施。
- 段ボール原紙・クラフト原紙の生産・販売に関して新体制での業務がスタートした。

新東海製紙

- 代表者 代表取締役 佐野 倫明
- 住所 静岡県島田市向島町
- 資本金 3,135百万円
(2016年10月1日現在)
- 事業内容 紙パルプの製造・加工・
販売及び子会社の経営管理等
- 株主構成 特種東海製紙 65%
日本製紙 35%

日本東海インダストリアルペーパーサプライ (NTI)

- 代表者 代表取締役 武藤 悟
- 住所 東京都千代田区神田駿河台
- 資本金 350百万円
(2016年10月1日現在)
- 事業内容 紙・板紙の販売
- 株主構成 日本製紙 65%
特種東海製紙 35%

新東海製紙BS

資産		負債	
項目	帳簿価額(億円)	項目	帳簿価額(億円)
流動資産	112	流動負債	102
固定資産	255	固定負債	125
		純資産	140
合計	367	合計	367

- 島田工場から赤松水力発電所、フィブリックテストマシンを除いた資産及び負債を分割
- 島田工場の機能会社である特種東海マテリアルズ、テクノサポートの株式は新製造会社が保有
- 日本製紙より6,250百万円の出資を受け入れ

提携シナジー

- **原質部門 省エネ技術他の導入**
(キルン最適化制御の導入、活性アルカリ濃度UPによる省エネ等)
- **抄造部門 薬品使用量の減少**
(地合改善による紙力剤の削減等)
- **動力部門 装置導入によるエネルギー効率向上**
(黒液濃度UPによる省エネ、脱硫装置の変更、**脱塩装置の導入、タービン効率改善等**)
- **物流コスト削減**
- **新設備導入**
- **その他、省エネ推進**

合計約20億円のシナジーを見込む。

提携シナジー① R1B脱塩装置導入

内容

- 回収ボイラー灰中の、塩素を除して付着灰を抑制し、主蒸気量増加とスーツブロワー蒸気の削減により、復水発電を増加させ購入電力を削減する。
- 投資金額：7億円
- コスト削減目標：170百万円/年
- 2017年12月 据付工事完了



提携シナジー② タービン効率改善

内容

- 3Tタービンの効率改善を行い、発電量を増加させ購入電力を削減する。
- 5Tタービンの排気量を42t/h⇒60t/hに変更し、購入電力を削減する。
- コスト削減目標：180百万円/年
- 2017年3月 5T改造工事完了 3T改造工事見積中



NTI 下期見込、BS

下期見込

	2016年度下期
売上高(億円)	505
販売数量(段ボール原紙:t)	890,000
販売数量(クラフト:t)	59,000

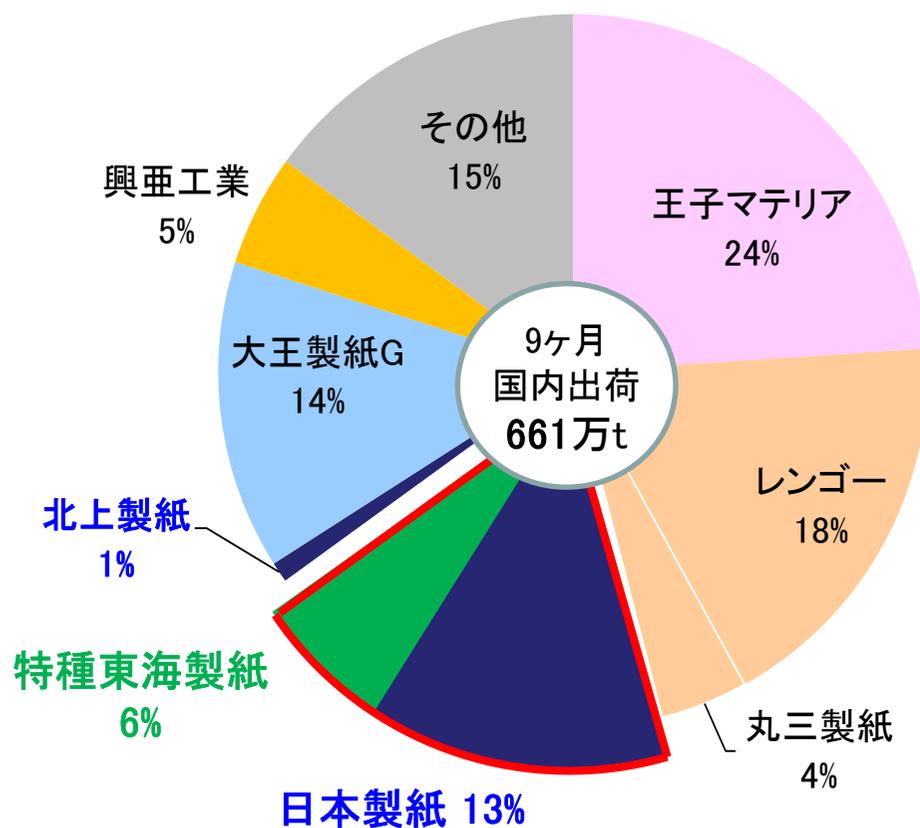
BS

資産		負債	
項目	帳簿価額(億円)	項目	帳簿価額(億円)
流動資産	60	純資産	60

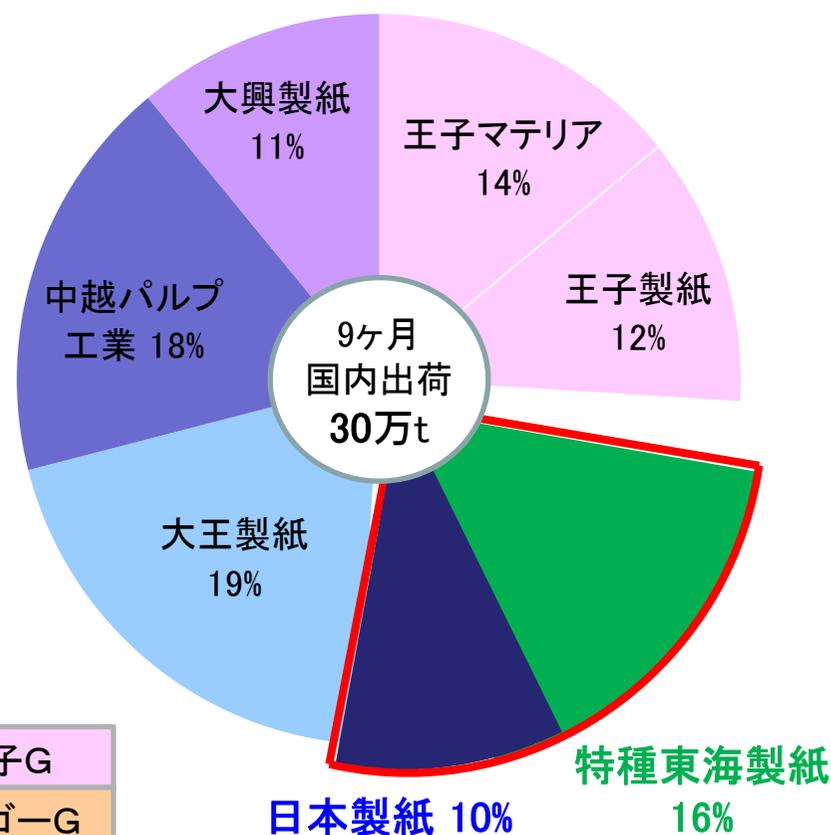
- 特種東海製紙、日本製紙からライナー、中芯、クラフト在庫を分割

業界シェア(2016年1月-9月)

段ボール原紙
(市場規模 約5,000億円)



重袋用・一般両更クラフト紙
(市場規模 約380億円)



※国内出荷シェア
※市場規模は、いずれも推定値



2017年3月期 通期連結業績見通し

2017年3月期連結業績見通し

(単位:百万円)

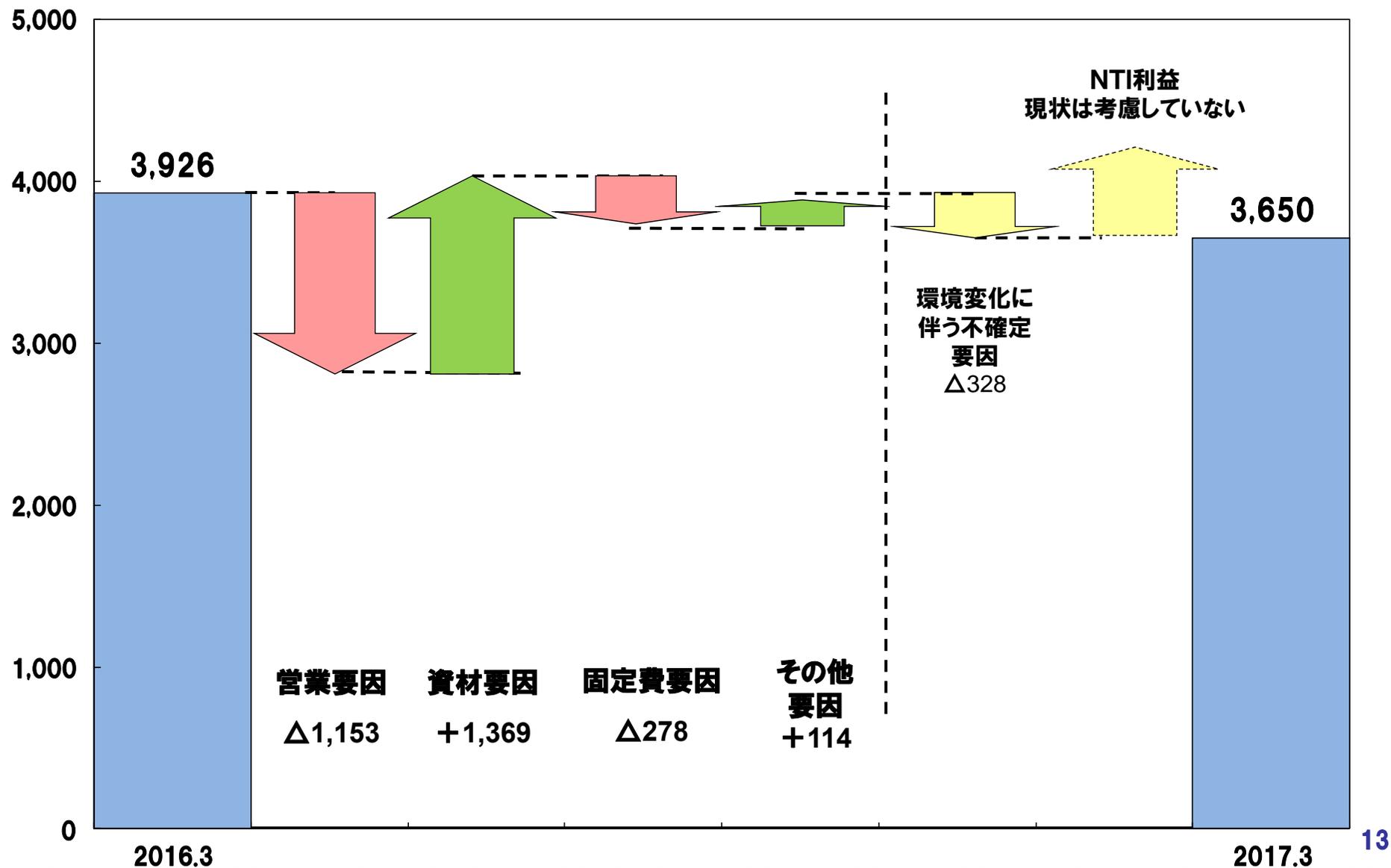
	前年実績	通期見通し	前年変化
売上高	78,460	78,500	+40
営業利益	3,750	3,800	+50
経常利益	3,926	3,650	△276
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,498	1,800	△698
売上高 経常利益率	5.0%	4.6%	—
ROA (簡易営業CF/総資産)	8.1%	8.0%	—

簡易営業CF
= 営業利益 + 減価償却費

前提 為替レート 105円/US\$
原油価格(ドバイ) 50\$/B

経常利益の増減要因(通期見通し)

単位:百万円



NaSFAの進捗状況 (新商品の開発)

NaSFAについて

NaSFAとは

当社の商品開発に係る技術力を4つに分類したもの。
それぞれ以下の意味を表す。



① Na : Nano technology (ナノテクノロジーから広がる新たな可能性)
⇒紙の領域を超えたシート状物の開発

② S : Security (偽造防止技術によるグローバル展開)
⇒黒すかし技術、最新スレッド挿入技術等を用いた製品を投入
⇒2020年東京オリンピックでの採用に向けた新規要素技術の開発

③ F : Fusion (技術融合による新市場の創造)
⇒各事業部、関連会社の強みとなる差別化された技術を融合

④ A : Art (新規加工技術による挑戦)
⇒新加工技術による新たな機能付与とコストの削減

新ガラス合紙の開発成果

NaSFA

環境

- 今後、液晶テレビの大型化に伴い、液晶パネルの面積需要は増加する。
- 特に北米と中国は3%程度伸びると予測する。
- 液晶パネルの生産拠点は中国にシフトしつつある。
(生産の中心は、日本⇒台湾・韓国⇒中国へと移りつつある。)
- 中国企業は製品の歩留まりを重視しており、ガラス合紙の品質に対する要求水準も高い。

対応

- こうした品質改善要求に、当社は新ガラス合紙の開発により応えてきており、今後も改善し続けることで、中国にシフトする液晶パネル生産にも対応し、更なるシェアアップを図る。



エアラスの販売状況

NaSFA

内容

- 三島工場に導入した最新の加工機(カーテンコーター)により製造。
- 紙に空間を作りながら、フワッと載せるような塗工技術によって「嵩高」と「緻密な美しさ」を同時に実現した。
- 2015年2月2日 上市。
- 主な用途:カレンダー、パンフレット、書籍。



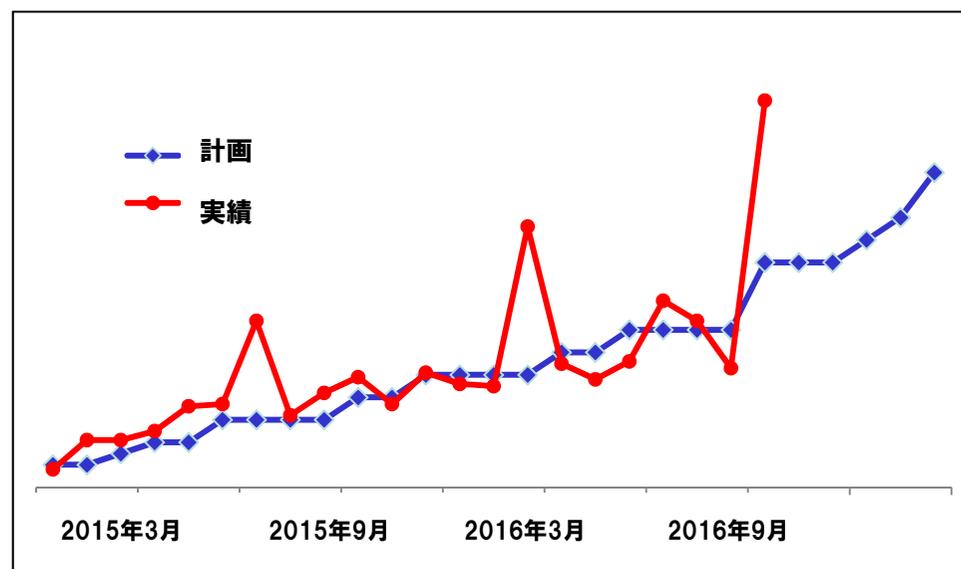
現在の状況

- 商業美術印刷への認知度が上がってきており、**月間販売量において、2017年度最終目標に迫る月が出始めている。**

今後の展開

- 2017年度 売上高8億円を見込む。

印刷見本

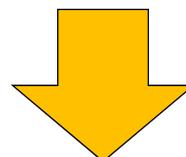


エアラスの販売実績

ファンシー事業の強化

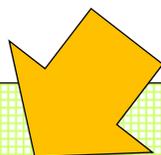
NaSFA

特殊素材事業の利益基盤
ファンシー事業

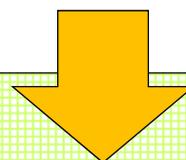


ファンシー事業の更なる強化

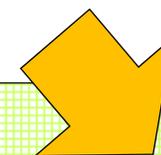
新製品の投入



レザック16



TSギフト



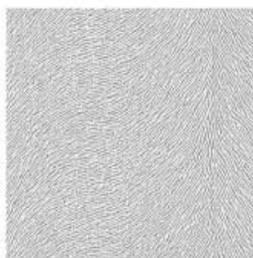
中国向け
ファンシー

ファンシーペーパー「レザック」

NaSFA

内容

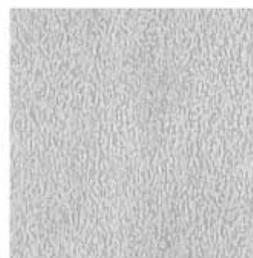
- 「レザック」はレザーライクという意味の合成語。
- 皮革をイメージしたファンシーペーパーを代表する製品。
- 「レザック」の製品名には、発売された年号が付き、1963年発売「レザック63」をはじめ、これまで10製品の「レザック」を発売。
- その「レザック」を象徴する「レザック66」の発売50周年に、新製品「**レザック16**」を11月7日に上市。



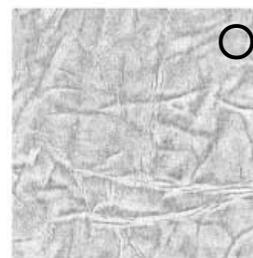
レザック63



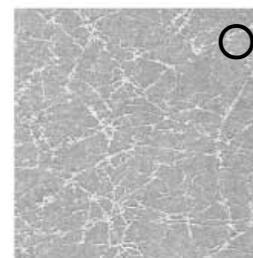
レザック66



レザック69



レザック75



レザック82 ろうけつ



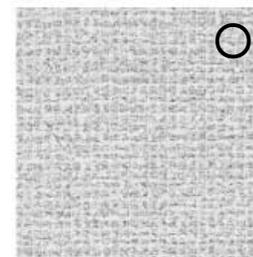
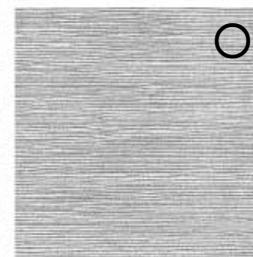
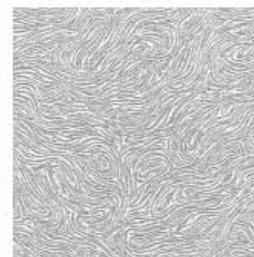
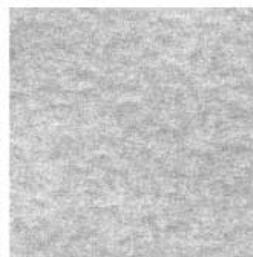
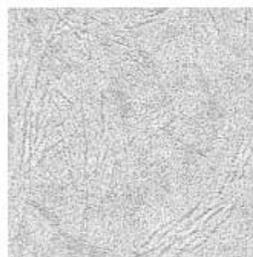
レザック64

レザック68

レザック71

レザック80 つむぎ

レザック96 オリヒメ



○: 現存する製品

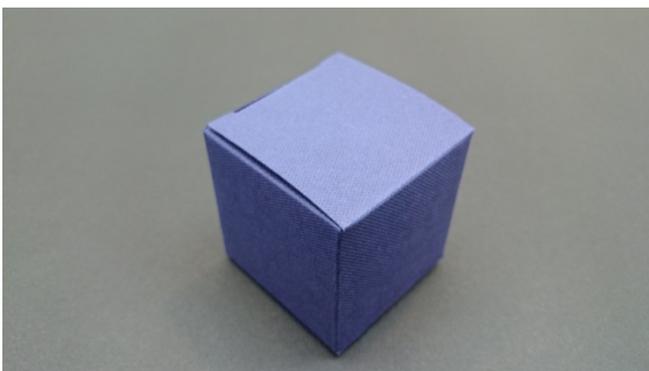
内容

- 「レザック16」は、長年に渡る研究によりエンボス紙に今までなかった**柔らかな質感**を生みだし、見た目にも触感にもリアルな皮革肌を実現。
- **加工や裁断のしやすさを高めた。**
- 色は厳選した皮革柄に合う上質な蛍光色と濃色を展開(16色)。
- 目標売上高:5億円。



内容

- 特殊なエンボス技術による繊細な肌を持ち、主に書籍装丁材にご愛顧頂いている、「タントセレクト」の柄を継承した、パッケージ用途の製品。
- 「タントセレクト」から汎用性の高い柄を展開(2柄12色)。
- **7月21日上市。**
- 目標売上高:1億円。



TANT

150色 四六判Y目 70・100kg
50色 四六判Y目 130・180kg

↓ 色 をセレクト

豊富なカラーバリエーション

**TANT
SELECT**

8柄 16色 四六判Y目 100kg
6色 四六判Y目 130kg

両面エンボス

↓ 柄 を継承

TSgift

2柄 12色 四六判Y目 70・200kg

片面エンボス

相関図

中国向けファンシーの展開

NaSFA

内容

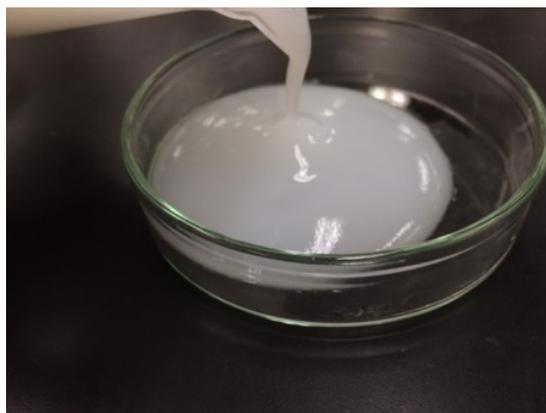
- 今後、アジア富裕層の購買力拡大に伴い嗜好品需要の伸びが見込まれるため、高級パッケージや書籍に用いられるファンシーペーパー(FP)の拡販に注力していく。
- 現在、特殊紙のOEM生産などで協力関係にある台湾の中日特種紙とともに中国における新規開発FPの販売企画を推進している。
- これまでに中国主要都市を訪問しFP代理店、デザイナー、ユーザーとの新たなコネクションを構築してきた。

セルロースナノファイバー脱水技術開発に係る 愛媛大学との取り組み

NaSFA

内容

- 愛媛大学が採択された環境省の公募案件※に対して共同実施者として参画。
※環境省「セルロースナノファイバー製品製造工程の低炭素化対策の立案事業委託業務に係る公募」事業。愛媛大学、愛媛県との共同開発。
- セルロースナノファイバー(CNF)は軽量かつ高強度な素材であるが、解繊時に多量の水分を含有。これまではCNFの脱水に多量のエネルギーを要する。
- 本検討では、非加熱での脱水技術確立が目標。非加熱脱水により脱水時のエネルギーコストの削減と排出されるCO2の削減を目指す。
- さらに脱水されたCNFに関しては透明樹脂への混練を検討する。
- 想定される用途：自動車部材向け



愛媛大学 紙産業イノベーションセンター
(研究代表)

愛媛県紙産業技術センター

特種東海製紙(株)

フィブリック (FIBLIC) の開発状況

(リチウムイオン二次電池用セパレータ)

NaSFA

内容

- リチウムイオン二次電池用セパレータ(絶縁体)の開発に成功、**ユーザー十数社を対象に試作品を提供中**
- セルロースナノファイバー(CNF)で作るシートにて微細孔を制御している。
- 不織布系セパレータは微多孔フィルムに比べて抵抗が低く、高速充電適性に優れる。
- ただし既存不織布系セパレータではカーボン負極適性なし(デンドライト抑制できず)
- フィブリックは高速充電とデンドライト抑制のバランスに優れる。
- 11月29日～12月1日に幕張メッセにて開催される、第57回 電池討論会にて当社の新技術について発表を行う。

現在の状況

- **強度アップのための新たな構成については、相応のレベルに達した。**
- 特定ユーザーに高い評価を得ており、2018年度中の製品化を狙う。

今後の展開

- 2020年モデル車載用LIB採用を目指す。

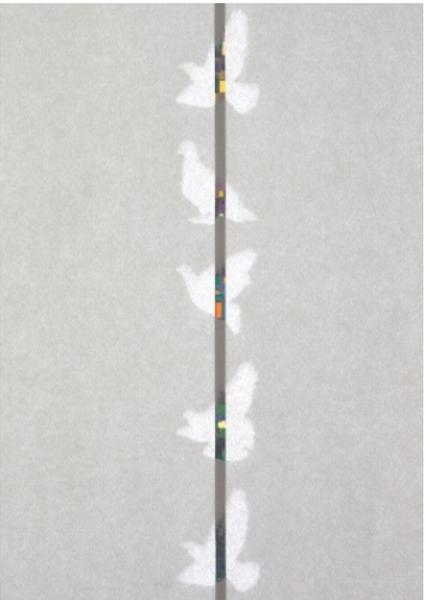


フィブリック 建屋

偽造防止用紙 東京オリンピックへの取り組み

内容

- 2020年東京オリンピックでのIDカード、チケット類などの獲得をめざす。
- 商権獲得のため、既存技術のブラッシュアップ 及び 新規偽造防止技術の実用化を目指し検討中。

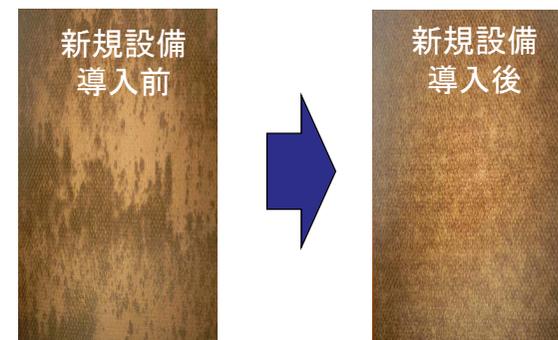
<p>ピクチャーウインド スレッド (偽造防止効果、意匠性向上)</p>	<p>マルチカラー ウォーターマーク (角度依存的な柄変化)</p>	<p>黒透かし (階調表現の実現)</p>	<p>特殊透かし (透過像と蛍光像の一致)</p>
			<p>透過像</p>  <p>蛍光像</p> 

内容

- 放射能汚染地域の復興への貢献のため、放射性物質を吸着するシートを開発。
- 不織布間に特殊ゼオライトを散布し、セシウムおよびストロンチウム除去率が95%以上。
- 縫製、プリーツなど用途に応じた形状に加工可能。

技術力アップ

- 新規設備導入、100 μm 以下の微粉体も散布可能。
- 散布可能な粉体の選択肢が増加。



導入状況

- 関東地方の最終処分場に、**汚染物質漏出防止用シート**として新規採用。
- 中部地方の最終処分場と浜岡原発より、**追加受注**。
- また、東京電力 **福島第一原子力発電所**の排水路に、**放射性物質濃度低減フィルター**として試験的に設置。

参照「福島第一原子力発電所の廃止措置等に向けた中長期ロードマップ」

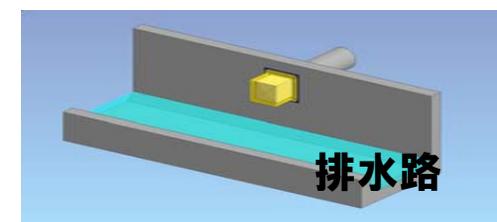
2016年3月31日(廃炉・汚染水対策チーム会合 第28回事務局会議)

【資料3-6】環境線量低減対策

http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/roadmap/images1/images1/d160331_11-j.pdf



放射性物質濃度低減フィルター



排水路 設置イメージ

海外事業の推進

中国向けファンシー

- 今後、アジア富裕層の購買力拡大に伴い嗜好品需要の伸びが見込まれるため、高級パッケージや書籍に用いられるファンシーペーパー(FP)の拡販に注力していく。
- 現在、特殊紙のOEM生産などで協力関係にある台湾の中日特種紙とともに中国における新規開発FPの販売企画を推進している。
- これまでに中国主要都市を訪問しFP代理店、デザイナー、ユーザーとの新たなコネクションを構築してきた。

海外事業の拡大

- 海外の企業と提携して、紙以外の新素材機能性シートの開発を推進中。
- アジア市場での安定収益を目指して有力なパートナーと業務提携を進め将来的にはM & Aや合併会社の設立などの手段を含め海外事業拡大検討していく。

第26回 紙わざ大賞 作品展

内容

- 12月13日(火)~17日(土)
- 10:00~19:00(最終日は18:00まで)
- 東京交通会館2Fギャラリー
- 入場無料



会場までのアクセス



- JR線 JR山手線・京浜東北線・有楽町駅(京橋口・中央口(銀座側)) 徒歩1分
- 地下鉄 有楽町線:有楽町駅(D8) 徒歩1分/有楽町線:銀座一丁目駅(C2) 徒歩1分/丸の内線:銀座線・日比谷線:銀座駅(C9) 徒歩3分



お問い合わせ先：財務・IR室

〒104-0028

**東京都中央区八重洲2-4-1
ユニゾ八重洲ビル**

Tel 03-3281-8581

Fax 03-3281-8591

本資料に掲載しております当社の計画および施策などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。様々なリスクおよび不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がございますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。